



・冬至  
冬至は二十四節気のひとつ。二十四節気は季節の移り変わりを知らするためのもので約15日間ごとに24に分けられています。二十四節気は約15日間の期間ですが、かぼちゃやゆず湯などの行事を行う冬至の日は冬至に入る日をさしています。冬至の日はいつかという固定ではなく毎年変動し12月21日頃にあたります。二十四節気は1年を太陽の動きに合わせて24等分して決められるので、1日程度前後することがあるからです。今年の冬至は12月22日です。

# 調査報告書の読み方

師走ですね。  
2023年もたくさんの地盤調査・解析保証をご依頼いただき誠にありがとうございました。  
あらためて地盤調査報告書の読み方をご案内させていただきます。

・荷重(KN)  
荷重(KN)ですが、何kgの荷重をかけて計測したのかを表記しています。  
0.25単位=25kg単位で表記しています。  
基本、0.25、0.50、0.75、1.00のいずれかの表記がされます。

・半回転数(Na)  
半回転数(Na)ですが、25cm毎貫入するのにロッド(鉄の棒)が何回転したのかを表記しています。  
例えば14と表記されていたのであれば、半回転14なので、25cm貫入するのに7周(7回転)して貫入した、という事がわかります。ここで表記される数字=半回転数が大きければ大きいほど、摩擦抵抗があるということですので地盤が硬いと判断できます。また半回転数の表記が0の場合は、自沈層と呼ばれる重りを載せただけで沈んでいく弱い地盤である事が判断できます。その際の挙動が貫入状況に記載されます。  
ユックリ、ハヤメなどといった具合です。  
表記0が続く場合、自沈層が連続しますので注意が必要です。

・貫入深さ  
貫入深さはロッドの貫入深度を表しています。一番最下層の貫入深さが最終貫入深度(どの深さまでロッドが入ったか)

である事がわかります。

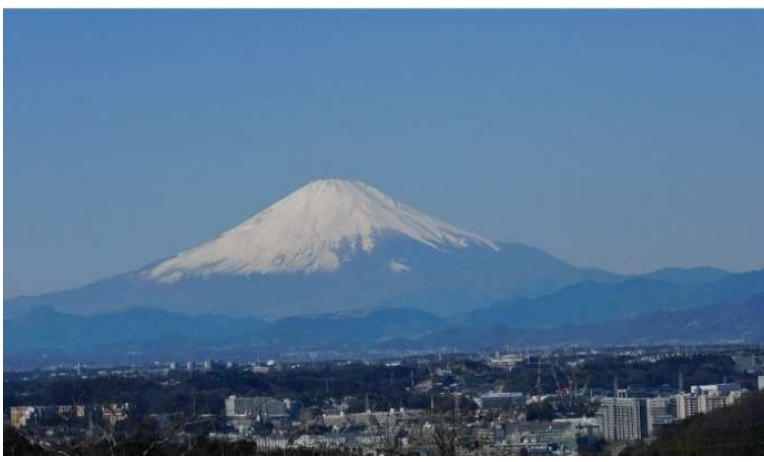
・1m当り半回転数(Nsw)  
1m当り半回転数(Nsw)ですが、1mあたり半回転数=N値を長期地耐力に換算した数値を表記しています。  
N値とは土の硬さや柔らかさ、または締まり具合を示す値です。これにより強度がわかります。※  
仮に半回転数が14なら、ここのNswは56と表示されます。(25cmで14半回転なので、1.00mだと14×4=56)

・換算N地  
換算N値ですが、半回転数を基に算出した地耐力数値です。スクリーウエイト貫入試験結果から求められる地盤の強度を示す値のことで。計算式は稲田式と呼ばれる計算式を用いて算出し、表示されます。  
礫・砂・砂質土  
 $N = 0.002Wsw + 0.067Nsw$   
粘土・粘性土の場合  
 $N = 0.003Wsw + 0.050Nsw$

※N値とは、標準貫入試験(JIS A1219)において、63.5kgのハンマーを75cm自由落下させ、サンプラー(円筒状の抵抗体)を土中に30cm貫入するのに要する打撃回数を云う。  
スクリーウエイト貫入試験では、貫入抵抗値(Wsw・Nsw)を測定した後に、上記換算式等によりN値を推定(換算N値)し、地盤の診断や地盤改良等の設計に用いている。

## 第34回 今月もウォーキングにお付き合いください

### 三成 哲也のウォーキング日誌



11月19日6時自宅出発～円海山～氷取沢～栗木～峰

早朝は寒い。手がかじかむようだ。  
近年思うのは夏が非常に長く秋の気配を感じられないまま寒い冬に突入していくような気がする。いったい「天高く馬肥ゆる秋」とこへ行ってしまったのだろうか。

港南台西公園を突っ切って環状線にでる。右手に見える高校も以前は「港南台高校」であったが、今は違う名前の高校だ。この円海山周遊コースは自分の中でウォーキングの基本コースだ。10年ほど前から毎週日曜日に始めたウォーキングだが初めの頃は毎週円海山を歩いていた。

途中チェックポイントを設けて通過時間をチェックする。極端に遅いペースだとちょっとだけ体調を気にする。ただタイムレースではなく、その時々、綺麗な花を見つけると見入っていることもあるし、リスが木々を駆け回っていればじっと見ていることもある。

だから時間は余りにしない。

港南台五丁目の信号の先から円海山に入り山道を黙々と歩く。途中富士山がきれいに見える絶景スポットがある。そこはお年寄りのラジオ体操の場所にもなっている。ラジオ体操をしているお年寄りを横目で見ながらまた山路に入る。自分もあと3～4年でこの人たちの仲間入りするのかもしれないと思うとちょっと悲しくなる。

鎌倉方面は右折の看板があるが真っすぐ行く。FMヨコハマの送信所を過ぎるともうすぐ氷取沢の出口だ。氷取沢の高台から見る東京湾もなかなかの風情だ。遠くに浮かぶ船を見ていると何故かホッとした気分になる。  
氷取沢神社を右手に見ながら笹下釜利谷街道を上大岡方面に足をを進める。

途中何名かの少年野球の子供たちとすれ違った。この子供たちも未来の大谷選手を目指しているのか。そういえば大谷選手が全国の小学校にグローブを3個ずつ送るというニュースを見た。内訳は右利き用2個と左利き用1個だという。それを聞いて安心した。  
かくいう自分も左利きなのだ。自分が左利きであることを今振り返ってみるとあまり良い思い出はない。幼稚園の頃はさがみが上手く使えなかったこと、小学校の家庭科の授業で雑巾を縫う宿題が出て、左手で針を持っていると母が危なっかしくて見てられないと言って母が雑巾を縫ってくれたこと。体育のソフトボールも右利き用のグローブしかなく、無理やり右手にグローブをはめたりもした。大人になってからも、左利き用のゴルフクラブは少ないし、まずバーゲン等には出回らない。練習場でも端っこに追いやられる。

母からお箸と鉛筆だけは幼年期に直された。左手でお箸や鉛筆を持っていると、母に行儀が悪いと言って左手をひっぱたかれた。では今はどうか、野球の選手などはわざわざ右利きの選手が左打ちに替えている。大谷選手、松井選手もきつと幼年期は右で打っていたのではないかと。そういえば孫の柊も右投げ左打ちだ。

思い出に浸りながら歩いていると栗木の信号まで来ていた。信号の角にバッティングセンターがあるが、このバッティングセンターも左打席は少ない。  
栗木の信号を左折して峰方面に歩く。磯子カンツリークラブを通り越して暫くするとまた山路に入る。急こう配の上り坂を上がりきると息も切れる。ここからはほぼ平坦だ。

峰山神社にお参りして帰途に向かう。途中の港南台南公園の野球場では今日も熱戦がくり広げられていた。  
あと10分程で自宅だ。到着予想時間は8時40分